

※7 チーム中第3位

# TRICOLOR

## 大会・公式戦結果

### Top

#### 【県社会人リーグ(KSL-1)】

##### ▼第1節

vs さがみ大沢 FC 1-0○

### Youth

#### 【日本クラブユース(U-18)関東予選】

vs リオ FC 1-1△

vs ザスパ草津 0-4●

vs OSA 1-3●

vs フォルマーレ 0-6●

vs ヴェルディ相模原 0-8●

### Junior Youth

#### 【日本クラブユース(U-15)県予選】

vs esporte 藤沢 0-5●

vs 横浜栄 FC 1-8●

vs NPO Y.S.C.C. 1-0○

### 小6

#### 【横浜春季少年サッカー大会】

vs 一本松 SC 4-0○

vs 山田若竹 SC 0-0△

vs 横浜東 SC 1-0○

vs ニツ橋 SC 5-0○

vs ブルーキックス 7-0○

vs FC 緑 0-1●

※7 チーム中第2位で決勝T進出

### 小4

#### 【横浜春季少年サッカー大会】

##### <ブラン>

vs 大豆戸 FC-C 0-3●

vs 公田 SC 0-6●

vs 磯子フレンズ SC-B 2-0○

vs 上中里 SC-A 3-2○

vs 西本郷 FC 2-0○

vs 横浜すみれ 0-1●

※7 チーム中第5位

##### <ブルー>

vs 鴨志田第1FC 2-0○

vs 元石川 SC 3-0○

vs 大豆戸 FC-B 0-1●

vs 並木 SC 1-4●

vs 万騎が原 FC 3-2○

vs 瀬ヶ崎 FC-B 5-2○

### Papas

#### <Rec>

#### 【県シニアリーグ四十雀4部】

vs 座間 0-4●

vs 明星 1-9●

vs 大和 5-1○

vs 鎌倉 0-2●

#### <Comp>

#### 【県シニアリーグ四十雀2部】

vs 県庁 0-1●

vs 栄光 1-1△

vs 秦野 1-2●

#### <マスターズリーグ>

#### 【県マスターズリーグ】

vs 藤沢 0-5●

## 今、グラウンドでは...

### Top

#### 【2008年 KSL-1 開幕!!】

4月20日について2008年度の県リーグが開幕しました。1部に上がってから6年連続開幕戦で勝ったことがないので7年目の今年こそは何とせよ勝つために宿泊遠征も行い、内容も濃い準備を行ってきたのでチームとしての士気はとて高まっていました。相手のさがみ大沢FCは近年県リーグでは勝っていない分が悪い相手でしたが、結果は1-0で7年目の開幕戦を勝利で飾ることができよいスタートができたと思います。

しかし、内容は満足いくものではなく、「奪ったボールを簡単にまた相手ボールにしてしまう」「チャンスにゴールを決めきれない」など課題はまだ山積みであると同時にまだ11試合のうちの1試合が終わったばかり!

また、5月6日には横浜市民大会、5月25日には再び県リーグ第2節平塚SC戦が控えているので慢心することなくさらに気を引き締めて臨みたいと思います!そして最後に寒い中さがみ大沢FC戦を応援してくれた皆さん本当にありがとうございます!今シーズンも応援よろしくお願ひします!(樋口 圭太)

## Youth

### 【移動も勉強です】

今まさに公式戦真最中です。

日本クラブユースサッカー選手権大会 関東予選で、ザスパ草津・ヴェルディ相模原・OSA・フォルマーレ・リオFCとともに3部リーグに属しています。

ユースは神奈川県予選ではなく、いきなり関東です。なのでザスパ草津との一戦は群馬県の伊勢崎市まで行きました。電車で行くよりも、マイクロバスをチャーターしたほうが安いのでそうしました(草津温泉までは行っていません。念のため)。

移動のための交通費もなかなか馬鹿になりません。しかし、たいていは人工芝や天然芝などのいい施設でサッカーができています。

また、移動が大変と思える半面、自分たちで調べて遠方まで出かけることは随分とためになっています。将来間違いなく役に立つことの一つです。

試合の方はなかなか勝てないのがつらいですが…。(内田 佳彦)

### Junior Youth

「日本クラブユース選手権(U-15)県大会」が終了しました。

残念ながら2次予選進出はなりませんでした。選手たちにとっては様々なことを「感じる」きっかけとなった3試合だったと思います。内容は良かったけれど勝てなかった試合、内容も結果も良くなかった試合、内容はイマイチだけど勝った試合。もちろん理想は「良い内容で試合に勝つこと」なのですが、これには現段階でまだまだ足りないことがあることを感じてくれたら、大会の意味があったと思います。(二木 昭)

### 小 6

#### 【公式戦】

横浜市春季少年サッカー大会のブロックリーグが終了しました。当初選抜メンバーで参加する予定でしたが、試合に出られる可能性が低くてもチームの一員とし

て、参加したいという選手が多かったので、全員で参加することとなりました。直前にこのような混乱を招き大変失礼いたしました。

結果は最終戦に気の緩みが出てしまいました。なんとか決勝トーナメント進出が決定いたしました。これも参加した全員の気持ちがあつた結果と保護者の方々の良さサポートがあつたおかげだと思います。今後も応援よろしくお願ひいたします。また、本大会8試合(合計5時間20分)一人で審判をやっていた高橋さんにもこの場を借りて、お礼申し上げます。(また、GWの中、応援に駆けつけてくれた5年生ご家族の皆様ありがとうございます。)

なお、5月は全国大会県予選、市大会決勝トーナメントと試合が続きますが、多くの良い経験が出来るよう、体調管理に気をつけて参加してください。

#### 【考えるということ】

先日、テレビを見ていると、世界中を旅する元日本代表の中田英寿さんの特集をやっていました。もともと自分が好きだった選手ということもあり、テレビを見ていたら内容もとても興味深いものでした。マスコミへの対応等では以前から疑問がある方でしたが、良い選手になるには、人より努力すること、やはり常々考えることが必要なのだなと再確認しました。さて、その内容をざっと紹介したいと思います。中田さんがガーナのサッカーアカデミーを訪れ、そこの子供たちとのQ&Aです。

Q「もっとも優れていると思うサッカー選手は？」

中田「ジダンが 僕が見た中で一番優れた選手だと思う。」

「ジダンはまるでダンスをしているみたいなんだ。」

「(なぜかって?)ジダンのプレイは基礎がとても高いレベルにある。」

「基礎トレーニングは退屈で自分にはもうできるって思うかもしれない。だけど、基本練習に終わりなんてないんだ。だから毎日長い時間をかけて練習したほうがいい。それが良い選手になる秘訣だよ。」

Q「選手生活の中で何が大変でしたか？」

中田「だれにでもよいときと悪いときがある。勝つこともあるし、負けることもある。」

「特にプロの選手は勝てば神のように扱われるけど、負けると犯罪者のように見られるんだ。」

「対処していくのは簡単ではないよ。だけど重要なのは自分の考えをしっかりと持って、自分が何をやるか?何をしたか?何をしなければならぬか?を理解すること。そうすれば自分がよいときか悪いときかなんて関係なくなる。なぜなら全てがよい経験になるからだよ」

「悪いときは何が問題なのかを理解することができる。どうしてこの問題が起きるんだってことをね。」

「だからいつも考えなきゃだめなんだ。なぜ自分はここに居るのか?自分は今どういうときなのか?そして自分の心をいつも落ち着かせること。それがとても大切なんだ」

今後もサッカーを通じていろいろなことを考え、良い経験をしてもらえるよう、お手伝いできたらと考えております。

(益子 伸孝)

### 小 5

5年生は「個人技術の向上」を目的として、リフティングとジグザグドリブルを行っています。リフティングはインステップ、インサイドを100回、ヘディングを50回できることを目標にしています。

個人技術が高まることは、今後のサッカー人生において大いに役立ちますし、技術はあっても無駄にはなりません。そのためにも、「個」をのばすことを最優先とした活動をしていきます。

また、練習の成果を試す場として、練習試合をできるだけ多く行いたいと思っております。今後はサッカーに対する姿勢などについても、選手たちに話していくつもりです。(高田 成典)

### 小 4

#### 【横浜市春季少年サッカー大会】

4/19からスタートした大会について、各試合の結果と内容についてご報告いたします。(試合を終えた直後に書き綴っているため、日記のような文調になっておりま

す)

なお、この原稿を作成した 5/4 時点では、プランはまだ 4 試合を残しているため、その模様についてはまた次号お伝えいたします。

#### [4/27(日)ブルー第 1 日目]

×鴨志田第一 FC 2-0

×元石川 SC 3-0

勝ち点 6 を取れたことは評価できますが、両ゲームとも途中で足が止まりかけボールウォッチの場面が見られるなど内容的には今ひとつです。次の大豆戸 FC および並木 SC との 2 試合が、トーナメントに行けるかどうかのポイントを握っています。味方どうし声を掛け合い、全員攻撃・全員守備の時間帯が続けば、十分にチャンスはあると思います。

#### [4/29(祝)ブルー第 2 日]

×大豆戸 FC-B 0-1

×並木 SC 1-4

初戦の大豆戸戦を前に、「気持ちで負けずに一人ひとりがハードワークを徹底すれば、きっといいゲームができる。そして勝つも負けるもおそらく 1 点勝負になる」旨を伝えました。失点は一瞬の気のゆるみから決められてしまいましたが、総じてみんな頑張っていたと思います。守から攻に切り替わったときに、人数をかけスペースに飛び出すことを続けていければ、もっと相手を苦しめることができたはずです。しかし、現状ではベストに近いゲームができたと思います。

並木戦に関しては、選手たちが 1 試合目で全力を出しきってしまったのか、運動量もガクッと落ちてしまいボールの出所を抑えることができず、警戒していたロングボールを簡単に蹴られてしまいました。ただ、一度同点に追いつくことができた点に、このチームの成長を感じました。

#### [5/3(土)ブルー第 3 日目]

×万騎が原 FC 3-2

×FC 瀬ヶ崎-B 5-2

初戦は、0-1→1-2 からの逆転勝ちです。まだ小雨が降り、グラウンドコンディションは決してよくありませんでしたが、あきらめずに最後までボールを追いかけた結果が勝ち点 3 につながったと思います。数ヶ月前であれば、良く引き分け止まりだった

でしょう。メンタル面の成長を感じました。

最終戦は、試合時間の少なかった選手を中心に臨みました。結果的にフィニッシュだけを見れば一人の選手に助けられた感がありますが、その前段階でドリブルとパスを折り混ぜながら、全員でボールを前に運ぶことができました。6 試合トータルで、4 勝 2 敗 勝ち点 12、みんな本当によく頑張りました。

#### [4/19(土)プラン第 1 日目]

×大豆戸 FC-C 0-3

×公田 SC 0-6

一人ひとりアグレッシブにプレーしており、攻守において内容では及第点に達していると思います。ただ、試合の結果を左右する両ゴール前でのパフォーマンスがいまひとつです。シュートは枠をはずしやすく、マークはルーズになる、では逆立ちしても勝てません。中盤では厳しくプレッシャーをかけられるのに、肝心のゴール前で粘り強さがなくなってしまうのは不思議です。勝ち点を得ることはできませんでしたが、第 3 戦目からは十分に巻き返せると思います。

(鈴木 章弘)

### 小 3

#### 【1 年間よろしく願いいたします】

今年 1 年間、小学 3 年生を担当いたします国士舘大学政経学部経済学科 2 年の丸山祐人と申します。現在は大学・地元でフットサルをしています。大学のゼミでは経済学中心に勉強しております。まだまだ未熟者ですが一生懸命やっていきますので一年間よろしく願いいたします。

#### 【3 つの約束】

- ①話を聞くときは聞く、挨拶・返事はきちんとする。
- ②練習からいつも一生懸命やる。(練習で出来ないことは試合でも出来ません)
- ③味方のプレーを絶対にけなさない。(サッカーにはミスはつきものです。みんなミスを補いましょう)

今年度最初の練習で子供たちと 3 つの約束をしました。今年 1 年間で子供たちがなぜこの約束をコーチが掲げたのか? の答えを次の学年に上がる前に全員に答えを聞きますので選手の皆さんは 1 年間か

けて自分なりの考えてみましょう。

#### 【基礎練習の大切さ】

今、練習では主に基礎練習を中心としたメニューを多く取り入れております。基礎的練習は子供たちには少々退屈なメニューになってしまっていますが、実際の試合では高度な技術的以上にもボールを止める・正確に蹴るといった基礎的技術のほうが要求されます。

できるだけ、子供たちが退屈しないような練習メニューを作れるように努力したいと思います。(丸山 祐人)

### 小 2

引続き今年度も担当させていただくことになりました。「引続き」とはいえ、気持ちも新たにみんなと楽しく活動していきたいと思っております。

#### 【「時間を守る」「挨拶をする」】

そうこうするうちに新年度も早 1 ヶ月が経ちました。ひとつ学年が上がったことでサッカーに取り組む意識も上がってくることはと思いますが、先日 もう少しだけ意識を高めてもらうために 2 つのことを話しました。ひとつは『時間を守ろう』、もうひとつは『挨拶をしよう』です。

『時間を守ろう』については、「毎回の活動を全員が一緒に始めて一緒に終わる」ことで同じ意識で取り組むことを目的とします。活動開始時間に直ぐに活動が始められる(準備が出来ている)様、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。私もスムーズに進行できるよう引続き頑張ります。

『挨拶をしよう』については「自分から声を出して欲しい」という思いからです。慣れてくれば挨拶をゲームのようにしても良いのですが、最初は自分から声を出すことで活動前に少しでも気分が揚がってくれば良いかな、と思っています。こちらも保護者の皆様にも積極的に協力(お声掛け)をいただけるとうれしいです。もちろん、決して強制するものではなく、あくまでも自発的に、意識を高めてもらうことを目的としていることをご理解ください。

#### 【本年度もよろしく願いいたします】

す！】

年度初回からお願いばかりになってしまいましたが、本年度も保護者の皆様の協力をいただきながらみんなと楽しく活動していきたいと考えております。

「引続き」よろしく願いいたします m( )m(小野 津春)

## 幼児・小1

### 【無限の可能性を秘めた子ども！】

4月になり新しい子どもたちとの出会いの時期を迎えました。そこで、日頃私自身が子どもたちにどのような気持ちで接しているのかということをご理解いただくために、私が個人的に尊敬する灰谷健次郎さんの著作「子どもへの恋文」の中に引用されていた詩を孫引きさせていただきました。無限の可能性と素晴らしい才能を秘めた子どもたち、社会を明るくし、世の中を動かす原動力となる子どもたち…。そんなかけがえのない、素晴らしい存在である子どもたちと関わりを持つことができる幸せを噛み締めながら、今、新しい出会いに心をときめかせています。

もしも 竹中 郁

もしも この地球の上に  
こどもがいなかったら  
おとなばかりで  
としよりばかりで  
おとなはみんなむっつりとなり  
としよりはみんな泣き顔となり  
地球はすっかり色をうしない  
つまらぬ土くれとなるでしょう

こどもははとです  
こどもはアコーデオンです  
こどもは金のゆびわです

とびます 歌います 光ります  
地球をたのしくにぎやかに  
いきいきとさせて

こどもは  
とびます 歌います 光ります

こどもがいなかったら  
地球はつまらない土くれです

灰谷さんは、大人が「子どもだから…」と  
いって子どもの存在を甘く見る“子ども見く  
ぶり”を非常に嫌い、そしてそれを戒める  
著作をたくさん残し、2006年11月23日に  
生涯を終えました。今回はこの著書の中  
で小宮山量平さんの、「子どもを、知的勞  
働者としての子ども、平和主義者としての  
子ども、かけがいのないよろこびを人々に  
与える存在としての子ども」と定義する言  
葉も紹介しています。そして、徒に子ども  
を持ち上げるのではなく、子どもがその成  
長過程において、自らの特質でもって、人  
間関係を築き、社会参加を果たすことの  
できる存在であることを認識して、子ども  
たちに関わっている大人たちがどれほどい  
るのかと問うています。

子どもに何かを伝える指導者のはしくれ  
としては、こうした視点に立ち、子ども  
たちの可能性を信じて、かれらと共に歩む  
指導を実践しなければならぬと強く考え  
させられます。

具体的には、子どもたち自身が楽しいと  
感じ、自分自身も楽しいと感じる指導(指  
導というより共に成長することといった方  
が良いかもしれません…)を心がけたいと  
思っています。楽しくなければサッカーで  
はありませんし、また、サッカーは遊び  
(サッカーに限らずスポーツは全て遊び)  
です！お父様、お母さま方も是非グラウ  
ンドに足を運び、子どもたちと同じ時間  
を共有していただければと思います。(佐藤  
敏明)

## Papas

### 【リーグ戦開幕】

4月6日の県シニアリーグ戦を皮切りに  
本年度の公式戦が開幕しました。Recは4  
戦1勝3敗、Compは3戦2敗1分と両  
チームとも厳しいスタート。両チームとも  
参加選手数が少ないのが悩みの種。仕事、  
家庭と多忙な選手の皆さんですが、でき  
限りの日程調整をしてくださるようあらため  
てお願いします。

Recは止める、蹴るの基礎技術の正確

さとポジショニングが課題だと感じていま  
すが、その中で、対大和戦では、大野木  
選手ファンタスティックなプレーがありま  
した。味方のシュートがGKにはじかれて  
弾み、相手DFが大きくクリアしようとした  
瞬間、飛び込んだFW大野木の体が宙に  
一旋、空に向かって延びた足がボールを  
捕らえてシュート、相手ゴールに刺さりました。  
見事なオーバーヘッドシュートでした。  
試合終了後、相手チーム選手がわざわざ  
ベンチまで称赞に来たほどの素晴らしい  
プレーでした。大野木さんの年齢を超え  
たますますの活躍を期待します。

Compは1点差の敗戦、ドローゲームと  
少ない人数の中でおそらくは多くの選手  
がもどかしさ、苛立ちを感じているのでは  
ないかと思います。長いリーグ戦のまだ  
まだ緒戦です。焦らずに行きましょう。

県協会マスターズリーグへの初加盟第1  
戦は、対藤沢0-5●でした。格の違いを見  
せられた感がありますが、前半は0-1で折  
り返しており、まだこれからです。新造  
チームですので、まだチームとしての戦術  
理解など共通認識や、止める、蹴るの基  
本的技術の曖昧さなど課題が明らかにな  
った試合でもあります。しかし、馬入ふ  
れあい公園の人工芝のグラウンド、少雨の  
中でも照明を入れての夕刻のゲーム、大  
変素晴らしい環境でした。相手チームも個  
人技もチーム戦術もしっかりしていました  
し、審判団も県協会派遣の2級3級のみな  
さんで、当然ジャッジも的確で気持のよい  
試合でした。この素晴らしい試合環境をぜ  
ひ共有していきたいと思えます。

### 【5月試合日程など】

5月はMasters5/17、Rec5/11、  
Comp5/11,18,25の5試合が予定されてい  
ます。Compの皆さんは毎週試合がありま  
すが、ぜひ日程調整をしていただいて参  
加してください。なお、5/11はRec、Comp  
ともに審判実技講習会があります。この講  
習会の受講は、認定審判資格更新の必須  
条件で、今年はPapasのほとんどの方が  
更新対象ですので、試合と講習会との長  
い1日になりますが、対象の方は必ず受  
講するようにしてください。また、4級の方  
は受講義務はありませんが、技術向上とレ

ベル調整のためにできる限り受講するようにしてください。最新の予定は下記で確認してください。

### 【Papap 予定表】

<http://calendar.ultra-soccer.com/s/web/>

ID、PassWord は問合せを。

(茅野 英一)

### Mistral

1 月から川崎の野川キッカーズさんの助っ人として、市リーグに参加していました。助っ人って響きはカッコイイけどたいしたことでもできず…全然助っ人じゃないじゃん!!と怒られそうなままリーグは終わってしまいました(´Д` やっぱあ…ミストラルで出たいなあって思いました。友達に「今、6 人しかいないんだ～」と嘆いたら「試合出れるじゃん」って、あたしたちフットサルのチームじゃないよ!!メンバー募集中です。そこのお母様、奥様、一緒にやりませんか? 2 月に港北小でやったフットサル楽しかったじゃん…サッカーもフットサルもかわらないって…だから一緒にやる!!(内田 良美)

### ヨーガ

#### 【ブラボー!】

ヨーガは本来、自然の音や風を感じて行うものです。でも、スタジオなど室内で行うことの多いヨーガクラスでは、そうはいきません。

そこで、できるだけ心地よい空間を作るために CD を使用するのが一般的です。しかし、この CD、どんなものでも良いというわけではなく選ぶのに苦労します。そんなときの強い味方がインターネット。あまり一般に出回っていないヨーガ用の CD を専門に扱っている HP があるのです。その名はブラボーミュージックです。

<http://www.yogamusic.jp/index.html>

ヨーガに興味のある方は一度のぞいてみると面白いです。視聴もできます。

そして、この5,6 月はこの HP のトップページに私の写真が載っています。これも又笑えて面白いです。ちなみにこの写真はインドで撮ったもの。私の背後に写っているガンジス川が見えますか?

さらに、その私の写真の下には我らが「かながわクラブ」のトリコロール三角マークが! なんと、このブラボーミュージック HP とかながわクラブ HP はリンクで繋がっているのです。

おお! すばらしい! 総合型スポーツクラブのお手本「かながわクラブ」。まさに、「ブラボー!」です。(伊藤 玲子)

### たわごと 理事長の戯言

#### 【酸素カプセル】

おなじみの健友堂で身体のバランスを整えてもらったあと、試しに酸素カプセルに入ってみました。

あのベッカムが2002年W杯直前に左足甲を骨折しながらも、早期回復して見事活躍したことが広く報道されたり、ハンカチ王子こと斉藤佑樹選手も酸素カプセルを利用しての事もあり、その人気と知名度が広く一般的に定着しました。

カプセルに入って横になりスイッチ ON。徐々に気圧が高くなり、都度耳抜きを行います。10分程度で1.3気圧に到達。特段することも無いのでうとうとしているとあっという間に30分経過。するとここから減圧が始まり、10分で元通り。

中にいる間はこれといって感じなかったのですが、カプセルから出てびっくり。その場でスキップでもできそうなくらい身体がとっても軽いのです。

疲労回復はもとより、これは二日酔いにはかなり効きそうだなと思ってしまいました。(内田 佳彦)